NEXT

「環境保護印刷」で
サステナブルな
地域社会づくりに貢献

SDGsで
その先の
ステージへ

MOCHIZUKI
SDGs news
vol.07

Mochizuki

MOCHIZUKI SDGs news

「環境保護印刷」で サステナブルな 地域社会づくりに貢献

Interview
生産部印刷課　課長
伊藤 博志

創業以来、地域経済の発展、地域社会との共生を考え歩んできた望月印刷。
地域の安全と地球環境に対する配慮を企業責任としてとらえ、
「環境保護印刷」による製品づくりを通じて、サステナブルな地域社会づくりへの貢献を続けている。
その取り組みについて、SDGs推進委員会メンバーに話を聞いた。

望月印刷の
環境への取り組みは
コチラから

地域との協働

1999年から、環境に優しい「大豆油インキ」の使用を開始

――望月印刷は、早い段階から環境保護印刷に取り組んでいましたね。

はい。当社は、SDGsが国連サミットで採択される15年以上前から、限りある地球資源を扱う企業としての責任を考え、大気環境を保護する「大豆油インキ」の使用認定証をアメリカ大豆協会より取得し、環境保護印刷に取り組んできました。その後、大豆油以外の植物油も原料にした「ベジタブルオイルインキ」を使用。2017年のLED-UV印刷機導入をきっかけに、より環境に優しい「Non-VOCインキ」で印刷した製品を提供しています。

環境保護印刷マークの最高ステータス「クリオネゴールドプラス」の認証を取得

――認証を取得するには厳しい条件があると聞きましたが。

環境保護印刷マークの愛称であるクリオネマークの認証には、E3PA（環境保護印刷推進協議会）が定める6つの条件項目の達成度にあわせて「シルバー」「ゴールド」「ゴールドプラス」3段階のステータスがあります。新しい設備の導入時に、資材・材料の変更など、環境に配慮した様々な取り組みを行った結果、空気と水を汚さない環境保護印刷の技術と、オペレータの健康に配慮した職場環境を構築することができ、「クリオネゴールドプラス」の認証取得につながりました。

サステナブルな地域社会づくりへの貢献をこれからも

――今後の環境保護印刷への取り組みについて。

当社では、紙をリサイクルする再生紙よりも森のリサイクルにつながる「FSC®森林認証紙」をお客様におすすめしています。その用紙に、産業廃棄物のリサイクルにつながる卵殻パウダーを加えた「CaMISHELL®（カミシェル）」の取り扱いも開始。これからも、環境保護印刷に対して探究を続け、お客様とともにサステナブルな地域社会づくりに貢献していきます。

History

望月印刷の「環境保護印刷」の歴史

1999.5
大気環境を保護する「大豆油インキ」の使用認定証をアメリカ大豆協会より取得

1999.9.8
新社屋（1998年落成）の設備と環境に配慮した印刷技術が評価され、「彩の国指定工場」に認定

2004.10
「環境ISO（ISO14001）」を取得

2006
「水の循環装置」を導入。水の使用量や汚水処理を大幅に削減

2008.5.26
世界レベルで責任ある森林管理を普及するFSC®に賛同し、FSC森林認証のひとつ「CoC認証」を取得。「FSC®森林認証紙」の取り扱いを開始

2013.10
「環境ISO（ISO14001）」を返上。独自の環境マネジメントシステムの運用を開始

2014
現像液を使わない「CTPプレートシステム」の導入により、「クリオネゴールドプラス」の認証を取得。環境保護印刷マークのクリオネマークの表示が可能に

2017
無処理版の「CTPプレートシステム」を導入。刷版工程における廃液の排出をゼロに
「LED-UV印刷機」を導入。Non-VOCインキで印刷した製品の提供を開始

2020.5.25
創立70周年の創立記念日に「SDGs宣言」

2021
「CaMISHELL®」の取り扱いを開始

無処理版CTPプレートシステム

Non-VOCインキ

LED-UV印刷機

SDGs TOPICS

VOL. 07

TOPIC

01 | 空気と水を汚さない環境保護印刷

望月印刷では、地球にやさしい環境で印刷された事を示す「クリオネマーク」を取得しています。
クリオネマークは、環境保護印刷推進協議会（E3PA）が定める基準に基づき、印刷物のあらゆる工程において環境にやさしい資材・技術を使用している事を証明する環境保護印刷マークの愛称で、「ゴールドプラス」「ゴールド」「シルバー」の3段階のステータスが設けられています。当社では最高ステータスの「クリオネマークゴールドプラス」を取得しております。

GOLD+ clean Air clear Water 環境保護印刷

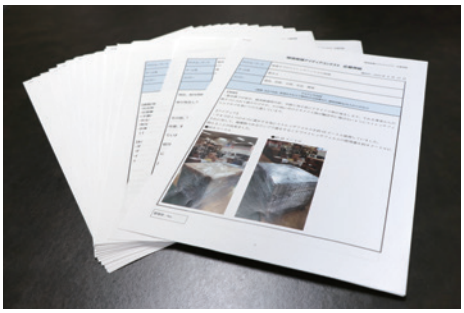
1.総量削減▶高細線スクリーニング（MP-280）によるインキ、湿し水の使用量削減
2.刷版工程▶無処理版CTPプレートの使用により、刷版現像液の廃液が出ない
3.印刷工程▶ノンアルコール印刷により、湿し水に代替アルコールを使用しない。湿し水ろ過装置の使用により、廃液量削減
4.イ ン キ▶Non-VOCインキの使用（インキに含まれる揮発性の有機溶剤が1%未満）
5.洗 浄 剤▶PRTR法非該当、有機則非該当などの基準を満たす洗浄剤を使用
6.廃液処理▶契約業者による回収・処理

以上の取り組みにより、澄んだ空気（Non-VOC）ときれいな水（Non-DRAIN）を守りながら高品質な印刷物の提供を心がけております。

TOPIC

02 | 環境保護の強化に向けた社内アイディアコンテストを開催

「環境保護印刷」の商品力強化と、従業員の発想力・コラボレーション力向上といった人材育成を目的とした社内アイディアコンテストを開催。6月から7月にかけた募集で、数人ごとのグループに分かれた全従業員から、30にも及ぶアイディアの応募がありました。
普段感じている「こうしたらもっと環境に優しいのに」「こんなものがあったらもっと世の中が良くなるのに」といった社会課題を各自で持ち寄り、グループで環境保護印刷の強化、廃棄物の削減・活用、手順・工程のカイゼンといったアイディアをまとめ上げました。
応募作品は当社役員・部門長が審査を行ったのち、選ばれた作品は応募したグループと社内のSDGs推進委員会メンバーが協力して実現化を目指します。
持続可能な社会・地域に向けて従業員同士が『共創』することで、継続的に社業を通じた環境保護の取り組みを強化してまいります。



つくる、つなぐ、かなえる“グッドスマイルメディア”
望月印刷株式会社
〒338-0007 さいたま市中央区円阿弥5-8-36
TEL.048-840-2111 FAX.048-840-2121
https://www.avenue.co.jp/
EPC-JAPAN加盟 Excellent Printing Community of Japan